

# Harmony

## 「みえるとかみえないとか」

先週の火曜日には、人権学習のひとつとして、ヨシタケシンスケさんの絵本を読み、「普通」って何だろう？ 人によって、普通や当たり前は違うことについて考えました。絵本を読む前にそれぞれが考えた「普通」には、『親がいること、友だちがいること、学校に行けること、平均、当たり前、常識、みんなと同じ』などの意見がありました。

この絵本では、目が3つある人の星や、手が4本ある人の星、足が長い人の星、などいろんな星があります。

(読んだことのない方は、ぜひ読んでみてくださいね)  
地球で生きる私たちのような人が、それぞれの星に行くと自分は何も不便ではないのに、「目が2つしかないんだって、道をあけてあげて〜」とか「この話はしないであげようね」と言われてしまい、珍しがられて、気を使われて、変な気持ちが出たって主人公は言います。

勝手にかわいそうって思われると、どんな気持ちになるだろう。多数の人と少し違うだけで「できない」と決めつけられるとどんな気持ちになるだろう。

また、絵本では、同じような人がいたら「ほくはなぜか安心した」ってところがあります。

自分と同じような人がいたら、仲間がいたら安心するのは、どうしてだろう。自分と似ている人が一緒だと安心するのはどうしてだろう。。。という疑問を持ち、考えました。

「ふつう」って普段から良く使う言葉だけど、たくさんの気づきを得て、すごく考えさせられた一時間だったと思います。障がいがある人や、他の国にルーツをもっている人、LGBT、男女、子ども、高齢者、病気、地域による違いなど、私たちが暮らす中でも、色んな人がいます。多数派(マジョリティ)の意見が当たり前で、少数派(マイノリティ)は、普通じゃないと思ってしまうがちな世の中だから、私たちの意識を変えていかなければいけないですね。



みんなの気づき  
感想を紹介  
します。

これは自分のことだと思った。…だから普通の人ってという言葉が聞くとイラッとします。だから自分はどんな人にも優しくしようと思う。

日本にはたくさん問題があるけど、私たちはそれを知らないから、それが問題につながるからたくさん学んで知っていきたい。

ちょっと違うだけで仲間外れにするのはよくないと思った。ほくも経験したことあるし。

グループで話し合うのはとても難しかった。自分はすべてそろって何かがない人の気持ちを考えたことがなかったから。差別などのことをなくすためにまず自分が行動する。

今までは自分の「当たり前」だけ考えて行動していたが、これからは相手の「当たり前」も考える。

自分の中での普通は、自分の基準でしかないから、その基準とは違うからといって、他人にその基準をおしつけるのは違うなと思った。